

大空の子

学校教育目標

- 知恵をみがき
- 清い心をはぐくみ
- 身体をきたえる子

令和3年7月12日(月)

帯広市立大空小学校

校長 川上 裕明



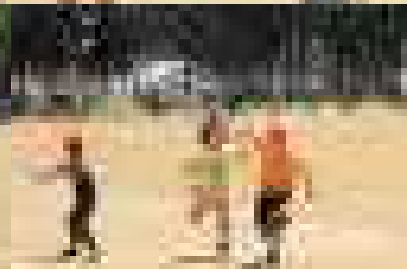
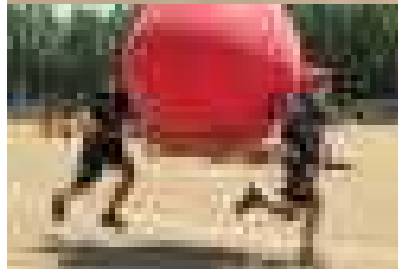
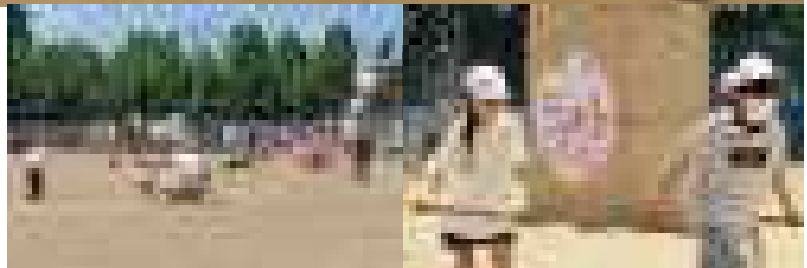
おおぞらっ子スポーツフェスティバル閉幕



限られた方法と時間の中で、児童は精一杯の取組をし、青空の下で躍動しました。

「予測困難」と言われるこれからの社会で必要な力は、「どうにかやりくりして今までと変わりなく過ごす力」ではなく、「時と場に応じ柔軟に思考し、できる限りのことを行う力」なのでしょう。

そう考えると、新型コロナウイルス感染に関わるいろいろな対応は、私たちがこれからの社会で生き残っていけるかどうかの試金石のようにも思えます。



平日で様々な制限の下でしたが、多くの保護者・ご家族の皆様に応援いただきました。大変ありがとうございました。

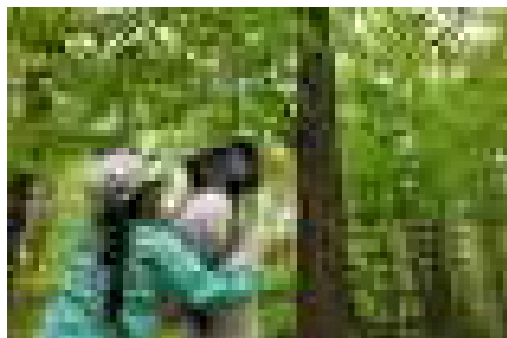
はぐく一む学習

大空小学校では、全ての学年が帯広の森「はぐく一む」を訪問し、様々な体験学習を行っています。

この日は、3年生が森の生物や植物を観察しました。

はぐく一むでは、施設長の□□さんが「大空小学校3年生の皆さんには、毎年決まった区域でのセミの抜け殻の

数を調べてもらっています。その数はこのグラフのとおりなのですが、この変化が何の理由によるものなのかはわかっていません。続けて調査していくことで、いつかその理由がわかるかもしれませんね……」とお話ししてくださいました。「はぐく一む」とすぐ近い、大空



小学校ならではの学習をさせていただいています。

また、この日はタブレットを持参し、□□さんから出題された様々なテーマで発見をし、画像に収めていきました。3年生では、「ハウセンカの生長のようすを画像と絵で記録していく」学習も行っています。タブレットの扱いも板についてきました。



検定にチャレンジ

この日は、大空中で10名の児童が漢字検定を受験しました。

大空中学校の先生からご案内をいただくので、漢字検定、数学検定、英語検定など、小学生にも受験の機会があります。

検定には、「検定に向けて勉強し、力をつける」「『試験』の雰囲気と緊張感を実感する」「合格の喜びと不合格の悲しさから、たくましさをも身につける」「資格を取得して自信を持つ」……いろいろな効果がありますね。

◇◇校長室から◇◇ みんななかよしのネットワーク

先ほど、「大空中学校エリアファミリー」五者の集まりがありました。

森の子保育園の□□園長、帯広の森幼稚園の□□園長、児童保育センターの□□所長、大空中学校の□□校長・□□教頭、大空小からは□□教頭、教務主任の□□先生、川上です。

お話は「コロナに負けず、子どもたちの笑顔で生活している」「子どもの健全育成のため、保護者の方との連携、この五者での連携が大切」「昨年度制作したポスターを、よりバージョンアップして地域の皆さんの理解を深めたい（今年はチラシで）」などなど……。

